

当科にて矯正治療を受けられた患者さんへ

現在、当科は「ブラケットの処方の違いによる治療結果への影響」という研究を行っています。これは、異なった種類のブラケットを用いた場合の治療結果を検討するための研究です。以下の内容をご確認ください。

1. 調査の対象は、本格矯正治療を行った方のうち、上顎前突または叢生の為に永久歯抜歯をした方です。
2. 年齢、性別、治療期間、治療前後の X 線写真による分析・模型などを用いて調査担当医師が対象となる症例調査票を作成します。
3. 症例調査票には、住所、氏名などの患者さんの個人が特定される情報が入力されることはありません。
4. 本研究の成果は学会や科学専門誌などに使用される場合がありますが、名前や個人を特定する情報が公開されることなく、個人情報を守られます。
5. 本研究について質問あるいは疑問がある時はいつでも下記担当医、あるいは矯正歯科受付にご連絡ください。

担当医	教授	末石 研二
	准教授	茂木 悦子
	大学院生	惣卜 友裕

お問い合わせ 東京歯科大学矯正歯科受付
TEL 043-270-3903